

博士学位論文の要旨

金融取引における情報の非対称性が地域金融機関の財務に与える影響について
ー非金融取引が情報の非対称性に与える影響を通じた分析ー

貸し手金融機関が借り手企業に対して提供するサービスは資金の貸出、債務保証、預金、為替など伝統的な金融取引以外にM & A 支援、ビジネスマッチング、人材支援、事業再生支援、創業支援など非金融取引がある。これらは新たに貸し手金融機関のビジネスの収益源となる一方で、借り手企業に対する「情報の非対称性(information asymmetry)」の緩和に繋がるとの効果が期待される。そこで本研究は、このような非金融取引と借り手企業に対する情報の非対称性(information asymmetry)の関係を分析したところ、金融取引の一つである貸出部門の利息収入の増加に有意な正の結果が得られた。このことは、非金融取引が借り手企業との情報の非対称性(information asymmetry)の緩和を促し、貸し手金融機関の本業である貸出部門での収益性向上への寄与が示唆された。この示唆は非金融取引が借り手企業の企業価値向上に貢献し、かつ貸し手金融機関に情報の非対称性(information asymmetry)の緩和と新たな収益源を提供することを示している。これは借り手企業と貸し手金融機関が相互に企業価値を向上させるビジネスモデルであると考えられる。

さらに本研究では非金融取引と情報の非対称性(information asymmetry)の関係性を定式化することで、金融分野における新たなモデルの構築と金融機関の財務及び効率性に関する分析を行った。

キーワード: 情報の非対称性(information asymmetry) 非金融取引 地域金融機関

貸出取引 リレーションシップバンキング